

10	オリンピック・パラリンピック準備局	「スポーツ都市東京」の実現を目指して
事業概要	<p>「東京都スポーツ推進計画」（平成25年3月策定）に基づき、都民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむ地域の日常的なスポーツ活動の場として、地域住民が主体的に運営し、子供から高齢者、障害者を含め、誰もが身近にスポーツに親しみ、交流を図れる場として運営する「地域スポーツクラブ」の設立・育成支援に取り組んでいる。</p> <p>また、2020年に開催される東京オリンピックに向けて、一人でも多くの東京育ちのアスリートを輩出する取組を推進する。</p> <p>さらに、「東京都障害者スポーツ振興計画」（平成24年3月策定）に基づき、障害のある人もない人も、だれもがスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」を目指して、地域での環境整備を重点に据えながら、障害者スポーツの情報発信・普及啓発や障害者スポーツへの取組体制の強化も着実に促進するとともに、競技力向上策等についても、一層の展開を図る。</p>	
これまで の経過	<p>1 地域スポーツクラブ設立・育成支援</p> <p>平成14年度から「東京都広域スポーツセンター育成モデル事業」を契機に、地域スポーツクラブの設立・育成支援に取り組んだ。</p> <p>平成19年度からは地域スポーツクラブの設立支援に重点的に取り組む各種施策を展開し、「東京都地域スポーツクラブ設立モデル事業」を平成21年度まで、5地区で実施した。</p> <p>旧計画の「東京都スポーツ振興基本計画」（平成20年7月策定）では、平成25年のスポーツ祭東京2013までに各区市町村に1～2の地域スポーツクラブの設立、平成28年度には、都内に100クラブ以上の設立を目標とし、平成25年2月末には45区市町村に112クラブが設立され、100以上の設立目標は達成された。</p> <p>現計画の「東京都スポーツ推進計画」（平成25年3月策定）では、引き続き全区市町村への設立を目指すとともに、既設の区市町村においては複数設置を推奨している。</p> <p>平成21年度実績 32地区、79クラブ 平成22年度実績 38地区、88クラブ 平成23年度実績 41地区、107クラブ 平成24年度実績 45地区、112クラブ 平成25年度実績 47地区、116クラブ</p> <p>2 総合的な競技力向上方策の推進</p> <p>(1) スポーツ祭東京2013における総合優勝とオリンピック等国际大会における東京都選手の活躍を目指し、東京アスリートの競技力向上を図るため、「東京都競技力向上基本方針・実施計画」（平成20年3月策定）に基づき、選手強化体制の整備、指導者の確保・育成、医・科学サポートによる支援の3つの柱により、東京アスリートを総合的に支援してきた。その結果、昨年開催されたスポーツ祭東京2013において東京都選手団が男女総合成績で第1位となり、天皇杯を獲得した。また、女子総合成績についても第1位となり、皇后杯を獲得した。</p> <p>平成26年度も引き続き、より多くの東京育ちのアスリートが国体や国際大会等で活躍できるよう、競技力向上施策を推進している。</p> <p>(2) 平成26年3月まで、JOC等スポーツ関係の有識者、公益財団法人東京都体育協会や学校体育連盟等により構成される「東京都競技力向上推進本部」を設置し、事業の状況確認や検証を行ってきた。</p>	

	<p>3 障害者スポーツの振興</p> <p>(1) 障害者スポーツを広め、障害のある人に対するスポーツ活動への円滑な導入を促進する</p> <p>ア 都内の障害者スポーツイベント情報や、公共スポーツ施設のバリアフリー情報等を掲載した障害者スポーツ専門ポータルサイト「TOKYO 障スポ・ナビ」を運営している。</p> <p>イ 障害のある人もない人も一緒に楽しめるスポーツイベント「チャレスポ！ TOKYO」や、障害者トップアスリートを区市町村や学校等へ派遣する「パラリンピアン出前授業」を通じて、障害のある人にスポーツを始めるきっかけを提供するとともに、交流の機会を設定することで、障害者スポーツの理解促進を図っている。</p> <p>(2) 障害のある人が地域でスポーツ活動を継続できる環境を整備する</p> <p>ア 障害者スポーツ事業のノウハウを持つ地域開拓推進員が、区市町村や地域スポーツクラブ等を訪問し、事業の企画・実施を支援することで、身近な地域でスポーツを楽しめる環境づくりを図っている。</p> <p>イ 区市町村職員やスポーツ推進委員等を対象にセミナーを開催し、地域の障害者スポーツ事業を支える人材の育成を図るとともに、障がい者スポーツ指導員養成講習会を通じて障害者スポーツの現場で実際に指導・支援にあたる人材を養成し、地域における障害者スポーツの取組を促進している。</p> <p>(3) 障害者スポーツへの取組体制を強化する</p> <p>ア 全国障害者スポーツ大会での東京都選手の活躍を目標に、正式競技の強化練習会を開催し、選手の競技力を強化している。</p> <p>イ 東京都障害者スポーツ大会を実施すると共に、東京都障害者スポーツ大会・関東ブロック予選会等を経て選出された選手や役員で構成される選手団を、全国障害者スポーツ大会へ派遣している。</p>
現在の進行状況	<p>1 地域スポーツクラブ設立・育成支援</p> <p>(1) 地域スポーツクラブ設立支援事業</p> <p>ア 東京都地域スポーツ設立支援協議会を開催</p> <p>イ 地域スポーツクラブ設立活性化事業を実施</p> <p>(2) 広域スポーツセンター事業</p> <p>ア 人材養成・研修事業を支援</p> <p>イ 活動支援事業を支援</p> <p>ウ 相談事業を支援</p> <p>エ 指導者派遣事業を支援</p> <p>オ 広域スポーツセンター機能強化支援事業を支援</p> <p>カ 東京都地域スポーツクラブサポートネットでの情報収集・情報提供</p> <p>キ 地域スポーツクラブが実施する広く都民が参加できる事業を支援</p> <p>ク シニアスポーツ振興事業及び子育て世代支援事業を支援</p> <p>2 総合的な競技力向上方策の推進</p> <p>(1) ジュニアスポーツの普及とジュニア選手の育成を推進するため、地区の体育協会が行うスポーツ教室やスポーツ大会等を支援する、ジュニア育成地域推進事業を実施。</p> <p>(2) オリンピック等の国際大会で活躍できる東京育ちのアスリートの育成に向けて、才能あるジュニア選手を「見つけ・育て・活かす」目的としたトップアスリート発掘・育成事業の第5期生 29 名に対して、育成プログラムを実施するとともに、第6期生の募集を行っている。</p> <p>(3) 高校生アスリートを対象とした医・科学面からのサポート実施や、指導者を対</p>

	<p>象とした自身の経験や熱意だけでなく、スポーツ医・科学に立脚した客観的なデータをを用いたコーチングが可能となるよう指導力向上を図るテクニカルサポート事業を実施。</p> <p>(4) 将来、国際大会等で活躍が期待できる小中高生を対象に、競技団体が強化練習、強化合宿等を行うジュニア特別強化事業を実施。</p> <p>(5) 競技団体が、即戦力となる国体候補選手に対して強化練習、強化合宿等を行う国体候補選手強化事業を実施。</p> <p>(6) 日本代表を目指す将来有望な選手に対して、海外で競技経験を積むための渡航費などに対する支援を行う日本代表選考会出場選手強化事業を実施。</p> <p>3 障害者スポーツの振興</p> <p>現在は、「東京都障害者スポーツ振興計画」10カ年のうち中期（平成26～28年）にあたり、着実に障害者スポーツの振興を推進しているところである。</p> <p>障害のある当事者への情報発信を行うと共に、社会一般への普及啓発を行い、障害のある人となない人がともにスポーツを楽しむための普及啓発を目指し、段階的に取り組んでいる。また、障害者スポーツを支える人材育成が進み、地域ごとに障害者スポーツを楽しめる環境づくりを行っている。</p> <p>更に、障害のある東京都選手がパラリンピック等の国際舞台で活躍することを目標として選手の競技力強化等を検討している。</p>		
<p>今後の見通し</p>	<p>1 地域スポーツクラブ設立・育成支援</p> <p>平成26年9月末現在、都内48地区に118の地域スポーツクラブが設立されており、平成26年度中に1クラブが設立予定となっている。</p> <p>また、働き盛り世代のスポーツ実施率の向上に寄与する支援事業の協働を検討するなど、今後も、地域の日常的なスポーツの活動の場として、都民の誰もが参加できる「地域スポーツクラブ」の設立・育成を支援する。</p> <p>2 総合的な競技力向上方策の推進</p> <p>2020年東京オリンピックに向けて、東京育ちのアスリートを強化するため、以下の事業を引き続き実施する。</p> <p>(1) ジュニア育成地域推進事業 (2) トップアスリート発掘・育成事業 (3) テクニカルサポート事業 (4) ジュニア特別強化事業 (5) 国体候補選手強化事業 (6) 日本代表選考会出場選手強化事業</p> <p>3 障害者スポーツの振興</p> <p>「東京都障害者スポーツ振興計画」10カ年の中期（平成26～28年）から長期（平成29～32年）に向けて、事業を実施していく。更に、平成25年9月に「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市」に選定されたことを受けて、一層の障害者スポーツ振興を図っていく。</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部 調整課、事業推進課</p>	<p>電話</p>	<p>(地域スポーツクラブに関すること) 03-5320-6806 (競技力向上方策の推進に関すること) 03-5320-7715 (障害者スポーツに関すること) 03-5320-7729</p>